

教案・教材作成用プロンプト（マークダウン形式）

役割

あなたはプロの日本語教師です。

以下の条件に基づき、日本語の授業で使用する授業教案と教材を一括で作成してください。

1. 指導スキル × 目的

- "話すスキルの向上" を目的とし、"～たことがあります" の文型を導入・練習すること
で、 "旅行経験について自分の言葉で表現できる" ようにすることを旨とする。

2. 学習者プロフィール

各学習者の特徴に合わせて授業内容を最適化してください。

- **生徒 A**

- 母語：ビルマ語
- 得意：会話
- 苦手：作文
- 興味：アニメ、和食、日本の大学進学

- **生徒 B**

- 母語：ベトナム語
- 得意：読解
- 苦手：リスニング
- 興味：J-POP、ゲーム、アルバイト

- **生徒 C**

- 母語：フランス語
- 得意：読解
- 苦手：漢字の書き取り
- 興味：温泉旅行、日本文化

- **生徒 D**

- 母語：ポルトガル語
- 得意：リスニング
- 苦手：文法の使い分け
- 興味：日本食、アニメ

- **生徒 E**

- 母語：インドネシア語
- 得意：作文
- 苦手：発音・アクセント
- 興味：YouTube、和菓子

3. ターゲット文法・語彙

- 文型：～たことがあります
- 語彙： 行く、来る、泊まる、食べる、飲む、買う、見る、撮る、登る、泳ぐ、歩く、遊ぶ、話す、書く、探す、乗る、降りる、観光する、見学する、訪ねる、休む、驚く、楽しむ、忘れる、感動する

4. コア語彙（10 語に限定）

- 行く、泊まる、食べる、見る、撮る、買う、登る、泳ぐ、遊ぶ、話す

5. 使用場面

- 自分の経験を話すとき（旅行など）
- 過去の行動やできることを話すとき

6. 語彙制限

- JLPT N4 レベルを超える語彙・文型・漢字は使用しない
- すべての漢字に**ふりがな**を付ける
- 「～ようとする」「～ことにする」などの複雑構文は避ける

7. 参考箇所指定

- 添付ファイルの構成をそのまま参考にしてください。

8. 授業タイムライン（50 分）

- 授業時間：50 分（±5 分のバッファ含む）
- アクティビティ順：導入 → 練習 → まとめ → 宿題提示
- 各フェーズに**具体的な時間配分**（%または分）を記載

9. 補足

- 教案と教材は生徒の情報を踏まえて最適なものを出力してください。
- 導入やティーチャートークで使えるトピックも併せて書いてください。

- 作成物の出力形式は、必ずすべてテキスト形式で提示してください。
- Word ファイルや PDF などの形式での出力は不要です。

教案・教材作成用プロンプト（対話形式）

① あなたはプロの日本語教師です。

これから私が入力する情報をもとに、教案および教材（例：ワークシート、練習問題、宿題など）を作成してください。

ただし、私が「作成開始」と指示するまでは、絶対に教案や教材の作成を始めないでください。

情報収集や内容の理解を優先し、必要に応じて入力内容を深掘りする質問を行ってください。

（質問は、曖昧な点や詳細を確認する目的に限ります。新たな項目の提案や脱線は不要です）

作成物の出力形式は、必ずすべてテキスト形式で提示してください。

Word ファイルや PDF などの形式での出力は不要です。

② 「話す」スキルの向上を目的とし、「～たことがあります」の文型を導入・練習することで、旅行経験について自分の言葉で表現できるようになることを目指します。

③ 以下は生徒 5 人の情報です。

- **生徒 A**

- 母語：ビルマ語

- 得意：会話

- 苦手：作文

- 興味：アニメ、和食、日本の大学進学

- **生徒 B**

- 母語：ベトナム語

- 得意：読解

- 苦手：リスニング

- 興味：J-POP、ゲーム、アルバイト

- **生徒 C**

- 母語：フランス語

- 得意：読解

- 苦手：漢字の書き取り

- 興味：温泉旅行、日本文化

- **生徒 D**

- 母語：ポルトガル語
- 得意：リスニング
- 苦手：文法の使い分け
- 興味：日本食、アニメ

- **生徒 E**

- 母語：インドネシア語
- 得意：作文
- 苦手：発音・アクセント
- 興味：YouTube、和菓子

④ 文型と語彙は以下の通りです。

文型：～たことがあります。

語彙：行く、来る、泊まる、食べる、飲む、買う、見る、撮る、登る、泳ぐ、歩く、遊ぶ、話す、書く、探す、乗る、降りる、観光する、見学する、訪ねる、休む、驚く、楽しむ、忘れる、感動する

⑤ 以下は特に学習してほしいコア語彙のリストです。

行く、泊まる、食べる、見る、撮る、買う、登る、泳ぐ、遊ぶ、話す

⑥ 使用場面は以下の通りです。

- ・自分の経験を話すとき（旅行など）
- ・過去の行動やできることを話すとき

⑦ 以下の語彙は使用しないでください。

N4 レベルを超える語彙、文型、漢字

⑧ このファイルの「導入」の構成をそのまま参考にしてください。

⑨ 以下は授業全体のタイムラインです。

授業時間：50 分

アクティビティ順：導入→練習→まとめ

授業の最後に、復習と宿題提示の時間を確保

⑩ 作成開始

- ⑪ 先ほど作成してもらった教案をもとに、簡単な宿題とその解答・解説を作成してください。なお、宿題内容は、当日授業で扱ったテーマと整合性を持たせてください。

プロンプト術：AI 自身にプロンプトを添削してもらおう！

以下のプロンプトを、論理的かつ正確な回答が出力されるように再構成してください。必要であれば、出力形式や制約条件も追加してください。

プロンプト：

プロンプト術：AI 自身に逆質問をさせよう！

あなたは、回答の精度を最大化する AI です。質問に対してすぐに回答するのではなく、回答の質を高めるために質問者に逆質問し、必要な情報を引き出してください。その後、得られた情報に基づいて回答を作成してください。

プロンプト術：ハルシネーション対策プロンプト

- ① 以下の質問に、事実に基づいて答えてください。使用する情報の出典（書籍名、著者名、ウェブサイト名、発行年など）を明示してください。また、その情報が正確であるかどうかを検証可能な形で示してください。なお、回答には 2020 年以降に公開された情報源のみを使用してください。
- ② 以下の質問に、事実に基づいて答えてください。使用する情報の出典（書籍名、著者名、ウェブサイト名、発行年など）を明示してください。また、その情報が正確であるかどうかを検証可能な形で示してください。なお、回答には 2020 年以降に公開された情報源のみを使用してください。
- ③ 「架空の人物名や団体名を含めないでください」
「Wikipedia を出典とする場合は、出典元の一次資料も併記してください」
「出典が不明な情報は『確認中』と記載してください」
わからないものは「わからない」と回答してください

プロンプト術：日本語教師向けプロンプト例

- ① 日本語の初級（JLPT N5 レベル）学習者向けに、「動詞のます形（食べます・飲みます・行きます・見ます・します）」を使った短くて日常的に使われている例文を 10 個、シンプルで自然な日本語で作ってください。各例文は 15 字以内をお願いします。
- ② JLPT N5 レベルの学習者に対し、「～が好きです／嫌いです」を導入する授業（45 分）の開始 5 分間で行える導入アクティビティの具体的なアイデアを提示してください。アクティビティはシンプルで楽しく、特別な道具を使わずに教室内で簡単にできる内容を具体的に説明してください。
- ③ 以下の初級向け例文を、中級学習者（JLPT N3）向けに調整してください。調整は語彙や表現、文法の難易度を変えることで行い、例文はそれぞれ 30 字以内に収めてください。
元の文：「私は毎朝コーヒーを飲みます。」